

カリキュラム

機構施設名： 沖縄職業能力開発促進センター
実施機関名： 株式会社フロムサーティ

D.データ活用		データベースを活用したデータ処理(応用編)	
109	データベースソフト活用		
コースのねらい		業務の効率化を目指し、データベースソフトの機能であるデータ間の関係性を利用した処理や目的にあったデータの抽出・更新処理、ユーザの入出力画面の作成方法を習得する。	
講義内容	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間(H)
	1 ■ リレーションシップと参照整合性	(1) リレーションシップ ・複数に分けたテーブル間の共通フィールドを関連付ける利点を説明する。 (2) 参照整合性 ・データの整合性を保ち、矛盾のないデータ管理について説明する。 (3) リレーションの作成と参照整合性の設定 ・自動結合による作成 ・手動結合による作成 (4) 参照整合性の確認 ・データの入力や更新、削除の制限を確認する。	2.0
	2 ■ クエリの活用	(1) テーブル作成クエリ ・既存のレコードをコピーして新規テーブル作成クエリを説明する。 (2) 削除クエリ ・既存のレコードを削除するクエリを説明する。 (3) 追加クエリ ・既存のレコードを別のテーブルにコピーするクエリを説明する。 (4) 更新クエリ ・既存のレコードを更新するクエリを説明する。 (5) 不一致クエリ ・2つのテーブルの共通フィールドを比較して、一方のテーブルにしか存在しないレコードを抽出するクエリを説明する。	5.0
	3 ■ フォームの活用	(1) コントロール ・フォームに最適なコントロールを配置し、効率よくデータ入力ができる商品マスターフォームを作成する。 (2) メイン・サブフォーム ・メインの売上伝票にサブフォームの売上明細を組み込み、見やすいフォームを作成する。	5.0
合計時間			12.0
カリキュラム作成のポイント			
大量のデータを効率よく活用できるよう、データの一括更新や明細行を組み込んだメイン・サブフォームの作成方法など、応用的かつ実用的な機能の習得を目指します。			